

職員用アンケート

事業者向け 児童発達支援自己評価表

おほしま園

	チェック項目	はい (%)	どちらともいえない (%)	いいえ (%)	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員は指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	22	33	44	・つぼみグループは人数が多く要検討 ・部屋が狭いと思うことがある ・もう一部屋ほしい
	2 職員の配置数は適切であるか	33	56	11	・グループによって差はある ・兼任や応援で人手が少ないことがある ・足りないことがあり、セラピストの応援が必要 ・部屋の掃除や送迎等で足りない日がある ・休日に事務作業をすることある ・送迎担当職員(スケジュールやルートの検討・運転業務)が必要
	3 生活空間は本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	33	56	11	・手すりが途切れる部分があるのが気になる ・療育室前の通路に荷物や柵がない方がいいが、置く場所がない
	4 生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子供たちの活動に合わせた空間となっているか	56	33	11	・洗面台が子どもには使いにくい ・冷房が効かない部屋がある
業務改善	5 業務改善を進めるための目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか	100	0	0	・今年度はより一層意識が高いと思う
	6 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	89	11	0	・これから…という部分もあり、保護者のニーズに応えていきたい
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果をふまえて、事業所として自己評価を行うとともにその結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	78	22	0	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100	0	0	・無理している時もあるので、もう少し考えながら進めたい
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	78	22	0	・時間が作れず、作ろうとする努力も難しい ・計画が遅れがちで、アセスメントも十分に入っていないことがある
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	78	22	0	・必ず必要と思う子優先になってしまう ・把握できていない
	11 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100	0	0	
	12 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100	0	0	
	13 活動プログラムの立案をチームで行っているか	89	11	0	
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	89	11	0	・できるだけ固定化しないようにはしているが、繰り返し行うことで取り組むことができる子どももいるため
	15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	100	0	0	
	16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	78	22	0	・するようにはしているが、送迎の関係でできないことがある
	17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	89	11	0	・必ずとは言えないが努力はしており、去年よりはできている
	18 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	89	0	11	・しないといけないのはわかっているが難しく、できる時にやっている
関係機関や保護者との連携	19 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	67	22	11	・遅れがち ・しないといけないのはわかっているが難しく、できる時にやっている
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100	0	0	
	21 母子保健や子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	67	33	0	
	22 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	78	22	0	
	23 (医療的ケアが必要な子ども等を支援している場合)子どもの主治医や医療連携看護師と連絡体制を整えているか	78	22	0	・把握できていない
	24 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	89	11	0	・把握できていない
	25 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	78	22	0	・把握できていない
	26 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、病院等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	33	44	22	・コロナの関係もあり難しい
	27 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	0	22	78	・コロナの関係もあり難しい
	28 自立支援協議会障がい児支援部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	22	56	22	・管理職で行っていると思う ・把握できていない
保護者への説明責任等	29 日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	67	33	0	・送迎を始めて、以前よりも難しくなっていると思う ・フィードバックの時間の確保が難しくなった ・伝えるべきことはLINEや電話で連絡している
	30 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	44	44	11	・コロナの関係もあり難しい
	31 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	89	11	0	
	32 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100	0	0	
	33 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100	0	0	
	34 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	89	11	0	・コロナ感染者が減ったタイミングで少しずつ取り組んでいる
	35 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100	0	0	
	36 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100	0	0	
	37 個人情報に十分注意しているか	100	0	0	
	38 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	89	11	0	
非常時の対応	39 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	11	33	56	・コロナの関係もあり難しい ・把握できていない
	40 緊急時対応マニュアル、災害マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	89	0	11	
	41 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100	0	0	
	42 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100	0	0	
	43 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	89	11	0	・把握できていない
	44 ヒヤリハット報告内容は、事業所内で共有し、次の事故を未然に防ぐよう努力しているか	100	0	0	
45 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100	0	0		
46 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100	0	0		

